

# ◆デマンドタクシーって何？

デマンドタクシーとは、利用者それぞれの希望時間帯、乗降場所などの要望（デマンド）に応える、新たな公共交通サービスで、タクシーの便利さをバス並みの料金で提供できるシステムです。

## ◆デマンドタクシーの仕組み

- ① 住民であれば子どもから大人まで誰でも利用できる。ただし、事前登録が必要。
- ② 利用範囲は、原則として町内ならばどこにでも行ける。
- ③ 30分前の電話予約で自宅まで迎えに行き、8人までの乗り合いで1時間以内に送迎。
- ④ 原則30分毎に運行、予約がなければ走行せず経費削減できる。
- ⑤ 土日、祝日、年末年始は運休。
- ⑥ 利用料金は1回300円程度。

⑦ 最新のITを活用し、情報センタ－では、複数の予約を効率よく整理し、配車管理を行い、運行上の無駄を最大限排除する。

## ◆取り組みの効果

- ① 自立支援効果・・・高齢者の外出機会増加による生きがい創出と健康の維持。
- ② 行政の財政支出削減・・・通常の福祉バスより負担が少ない。ただし、三芳の場合はライフパスがあり、運行時間や路線の見直し、また三芳にあったデマンド方式を検討する必要がある。
- ③ 市町村によっては、商工会が運営母体となり、商店街の活性化につながる。ただし、ある程度の商店街の規模がないと効果がない。

# ★南相馬市小高区と騎西町デマンドタクシー比較★

市町村	南相馬市小高区	騎西町
人口	約1万3000人	約2万人
面積	91.79平方km	28.6平方km（三芳町15.3平方km）
高齢化率	27.8%	19%（三芳町19%）
導入経緯	合併前の小高町は、当時町内を走る路線バスは1路線除き既に廃止。高齢者を始め交通弱者の移動手段確保が課題となっていた。福祉バスを検討したが、町直営2300万円、民間委託2700万円。一方、タクシー業者の利用者の伸び悩み、商店街も集客力が低下などを背景にデマンドを検討	騎西町は駅のない町。北3kmに加須駅、南8kmに鴻巣駅。両駅を結ぶ路線が1本。タクシー会社1社。以前から公共交通システムを検討していたが、利用希望者の8割が高齢者で午前5割病院等に利用。目的を特化し空白地帯を埋める目的で、郊外を走る循環型バスとデマンド方式を併用した。
主な運用	ジャンボタクシー2台、通常タクシー2台、利用は人口比10%	ジャンボタクシー2台、登録者20%
運営母体	小高商工会が事業実施主体となり、地元のタクシー業者2社からタクシーを借り上げ運行	商店街等の活性化を目的に町商工会が事業主体であるが、現状は十分な活性化につながっていない。
利用実態	利用者84%が女性。年代構成は80歳代46%、70歳代34%、60歳代7%、90歳代6%。利用傾向、医療66%、商店11%、利用者124人/日（平成18年度）	年代構成80歳代42%、70歳代33%、60歳代10%、50歳代4%。利用傾向はほとんどが医療機関、利用者43人/日（平成19年度）
補助金	年間1000万円	平成19年度予算約1500万円

今回、二地域の実情が異なるデマンドタクシーの視察を行えたことは大変有意義であった。今後当町の公共システムを検討していく上で、既存のライフバスも含め、三芳の実情に即した公共システムを構築する必要があり、広範囲な実態調査とより多くの住民の皆さんとの意見交換が必要であると感じました。



①情報センターから配車指示がタクシー端末に表示される。②タッチパネルで地図情報とも切替可能。③情報をセンターと送受信



①情報センターに電話が入ると事前登録した家族の名前や住所が表示される。②目的地を聞いて入力、訪問時間を知らせる。